

令和3年度 医学群
教学 I R 実施報告書

はじめに

令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、医学群の教育は大きな影響を受けました。その中で、条件付きではありますが医療者の教育に欠かせない実習を中心に対面での教育が再開しました。また、Web会議システム等を使用した授業運用についても様々な工夫が凝らされるようになりました。教職員、学生のICTスキルが急激に上昇し、その利点を生かした学修が行われる一方で、学生間の格差も拡大しているようで、今後の授業のあり方についてさらに検討する必要があるように感じています。

横浜市立大学医学部医学科においては、JACMEによる分野別認証評価を2016年5月に受審し、2018年4月から2024年3月までの期間で認証を受けており、二巡目の受審を2023年秋に控えています。受審結果の中で、教学IR体制のさらなる整備とその体制を利用した継続的な医学教育プログラムの改良の仕組みの構築についての指摘がありました。その後の医学科の改善状況の詳細については、毎年JACMEへの報告を行い、その内容は本学ホームページ上で年次報告書として公開されています。そこでの記載に加え、一昨年、昨年に引き続き、全学的な取り組みのもと、医学科と看護学科を合わせて、この報告書を作成する運びとなったことを幸甚に存じます。

なお医学群に所属する学生数は、医学科定員90名/学年、看護学科定員100名/学年と少なく、個人が特定されやすい状況を踏まえて、情報の一部について概要のみの公開となることをご容赦頂ければと考えております。

医学群教学IR検討ワーキング長
医学教育学 主任教授
稲森 正彦

令和3年度 医学群教学 I R 取組事項

1. 国家試験不合格者の要因分析と対策（医学科） （入学試験成績との相関、共用試験 CBT 成績との相関等）

<取組概要>

- 1 国家試験の分析と不合格者の傾向の確認
- 2 分野別認証評価や学生の意見を踏まえた対応の検討

2. リサーチマインドの涵養のためのデータ調査・評価（医学科）

<取組概要>

- 1 研究活動に関するデータの確認
- 2 マインド涵養のための提案

3. 遠隔授業に関する学生の意向（医学科）

<取組概要>

- 1 遠隔授業に対する学生の希望調査
- 2 調査結果の確認と分析

4. 学生の出身地、出身校、初期研修など（医学科）

<取組概要>

- 1 市大生の出身校・出身地の確認
- 2 就職先（初期研修プログラム）の確認

5. 優秀な入学生の安定的な確保に向けた分析（看護学科）

<取組概要>

- 1 学生情報、入試情報、成績情報のデータ収集と分析

上記の1～5の分析結果について、各種会議にて報告・共有を行うとともに、医学部におけるカリキュラム改善等を支援した。

1. 医師国家試験不合格者の要因分析と対策（医学科） （入学試験成績との相関、共用試験 CBT の成績との相関等）

（1）実施内容

- 1 医師国家試験の分析と不合格者の傾向の確認
- 2 医学教育分野別認証評価や学生の意見を踏まえた対応の検討

（2）解析及び検討状況

- 1 医師国家試験の分析と不合格者の傾向の確認

医師国家試験合格率、共用試験 C B T の成績などの経年推移を比較し確認した。不合格者の傾向については入学時成績、G P A、共用試験 C B T 成績、勉強時間など様々な要素を確認した。医師国家試験結果と共用試験 C B T 成績の相関が高いことが確認されたため、共用試験 C B T 成績下位者については勉強時間の確保を最優先にフォローアップ対策を講じていくこととした。

- 2 医学教育分野別認証評価や学生の意見を踏まえた対応の検討

医学教育分野別認証評価の指摘及び学生評価という視点から対応を検討した。国家試験に至るまでに実施している評価として臨床実習後 O S C E、卒業試験があり、学生の意見も踏まえて見直しを行った。結果、卒業試験を分割する案が示され、導入に向けた検討を進める予定である。

（3）分析結果の報告

上記の分析結果について、以下の各種会議にて報告を行うとともに、結果を各学部教授会で報告・共有し、各学部におけるカリキュラム改善を支援した。

- 医学群 IR ワーキング
- 医学科教授会・医学部合同運営会議

（4）添付資料

- ・ なし（本概要のみ公開）

2. リサーチマインドの涵養のためのデータ調査・評価（医学科）

（1）実施内容

- 1 研究活動に関するデータの確認
- 2 マインド涵養のための提案

（2）解析及び検討状況

1 研究活動に関するデータの確認

学生の表彰制度である医学部長賞から受賞者、受賞者指導教室、卒業後の情報を収集し、確認した。

2 マインド涵養のための提案

リサーチマインドの涵養を確認するため修学中の学会発表、論文投稿、受賞歴と等に関するアンケート実施が提示された。

(3) 分析結果の報告

30名（卒後1年目から10年目）の対象者のうち、基礎系教員を2名輩出していた。大学院への進学は8名（基礎系2名、臨床系6名）であった。卒業後の初期研修、専門医研修を鑑みると、キャリアにおいて高率に研究に関わっていることが推察された。

上記の分析結果について、下記の各種会議にて報告を行うとともに、結果を医学部教授会で報告・共有し、医学部におけるカリキュラム改善を支援した。

○医学群 IR 検討ワーキング

○医学科教授会、医学部・医学研究科合同運営会議

(4) 添付資料

- ・ なし（本概要のみ公開）

3. 遠隔授業に関する学生の意向（医学科）

(1) 実施内容

- 1 遠隔授業に対する学生の希望調査
- 2 調査結果の確認と分析

(2) 解析及び検討状況

- 1 遠隔授業に対する学生の希望調査

令和3年10月に医学部医学科学生を対象に遠隔授業と対面授業に関する調査を実施した。調査には医学科学生の約80%に当たる440名から回答があり、結果をまとめた。

- 2 調査結果の確認と分析

設問のうち「遠隔授業の継続希望の有無」「授業理解度の遠隔授業と対面授業の比較」について確認した。遠隔授業の継続を回答者のうち約75%が希望し、対面授業の希望は約25%に留まった。授業理解度については、遠隔・対面共に理解度は同じという回答が57%で大半を占めた。医学部においては、大学の方針と学生の意見を

踏まえて令和4年度授業方針を策定した。

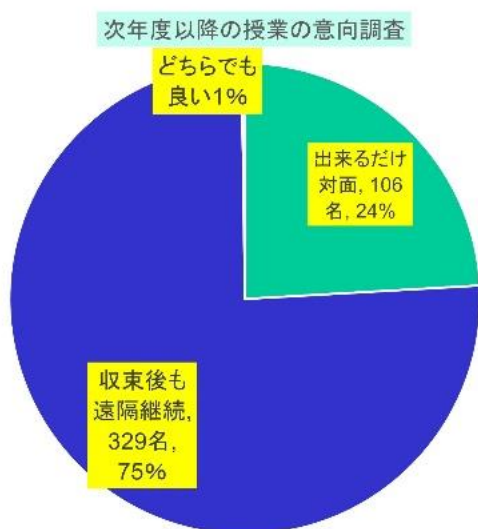
(3) 分析結果の報告

上記の分析結果について、以下の各種会議にて報告を行うとともに、結果を各学部教授会で報告・共有し、各学部におけるカリキュラム改善を支援した。

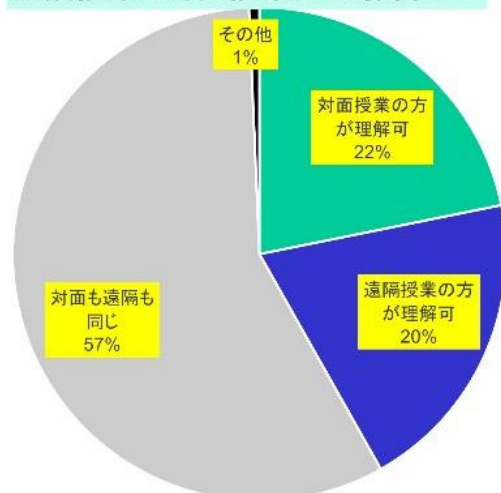
- 医学群 IR 検討ワーキング
- 医学科教授会、医学部・医学研究科合同運営会議

(4) 添付資料

- ・ 調査結果抜粋



遠隔授業と対面授業の理解度は？



4. 学生の出身地、出身校、初期研修など（医学科）

（1）実施内容

- 1 医学部学生の出身校・出身地の確認
- 2 就職先（初期研修プログラム）の確認

（2）解析及び検討状況

1 市大生の出身校・出身地の確認

平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間の卒業生（447 名）の出身校、出身地、初期研修プログラム、入局先を学生情報から整理し確認した。対象者の 8 割超が東京・神奈川に出身高校が所在していることが確認された。

2 就職先（初期研修プログラム）の確認

上記の卒業生（447 名）のうち 6 割が本学附属 2 病院を含む県内にて初期研修を行っていることが確認された。附属 2 病院で初期研修を行った者のうち約 8 割が本学医局に入局していることが確認された。

（3）分析結果の報告

上記の分析結果について、以下の各種会議にて報告を行うとともに、結果を各学部教授会で報告・共有し、各学部におけるカリキュラム改善を支援した。

- 医学群 IR ワーキング
- 医学科教授会・医学部合同運営会議

（4）添付資料

- ・ なし（本概要のみ公開）

5. 優秀な入学生の安定的な確保に向けた分析（看護学科）

（1）実施内容

「優秀な入学生の安定的な確保」を目的として、2015 年度から 2021 年度までの入学生情報のデータ収集と分析を行った。

（2）データ収集と分析

1 方法

2015 年度から 2021 年度までの入学生の情報として、「在籍状況（入試別の入学・退学・転学・卒業者数の推移等）」、「入試の成績（入試別の成績）」、「入学後の成績（通算 GPA）」に関するデータ 39 項目を収集した。分析は、入試枠別に入試成績と入学後

成績の分布を比較した。

2 結果

データ分析の結果、以下の点が確認された。

- ① 入試成績「S」「A」ランクの学生の通算 GPA の傾向は入試枠で異なる
 - ・一般入試（上位 30%）：約半数が GPA 「B」 に該当
 - ・推薦入試（上位 60%）：約半数が GPA 「S」「A」 に該当
- ② 通算 GPA 「S」「A」ランクの学生の入試成績の傾向は入試枠で異なる
 - ・GPA 「S」 の分布：一般入試の 1.5%、推薦入試の 5.7%
 - ・GPA 「A」 の分布：一般入試の 22.4%、推薦入試の 44.1%
- ③ 上記①②より、推薦入試は、優秀な学生確保のための手段である
 - ・より効果を上げるための検討が必要（推薦入試の定員・指定校・種類等）
- ④ 今後の検討課題
 - ・卒業後の動向調査
 - ・バカロレア入試（2021 年度導入）の評価

（3）分析結果の報告

上記の分析結果について、以下の各種会議にて報告・共有を行うとともに、看護学科におけるカリキュラム改正ならびに入試関連の検討を支援した。

- 医学群 IR 検討ワーキング
- 医学部・医学研究科合同運営会議

（4）添付資料

- ・ なし（本概要のみ公開）